
ひぐらしのなく頃に 異端の刑事

チルノ・トレバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひぐらしのなく頃に 異端の刑事

【Nコード】

N9524Z

【作者名】

チルノ・トレバー

【あらすじ】

ある事件で独断で発砲し、武装犯を射殺した警部補・坂戸宮時雨。新たに興宮に赴任した彼女の存在は、離見沢の運命にどのような影響を及ぼすのか……

丸木銀行立て籠り事件（前書き）

また新しく書きしまった……
だが後悔はしてない。

丸木銀行立て籠り事件

昭和53年 3月24日 午後4時26分 東京某所

数人の武装した男達が丸木銀行に押し入り、職員を人質に立て籠る事件が発生した。

これを聞いた警察は機動隊を出動、銀行を包囲し、説得を試みる。

そして付近の建物の屋上では、特殊銃隊が犯人に狙いを定めていた。

「射撃許可はまだか？」

屋上で寝そべり、スナイパーライフルを構えている女性が苛立ちながら、

近くに居る部下に尋ねる。

「まだありません。どうやら本部は説得を試みるようです」

それを聞いて彼女、坂戸宮時雨は舌打ちする。

既に犯人を照準に捉えており、許可があればすぐにでも射撃可能な状態だった。

今回立て籠っている男達はどれも凶悪犯で、

今まで多くの命を奪ってきた。

そんな連中が相手なのだ、人質の一人や二人簡単に殺すだろう。

一刻も早く制圧しなければ、人質の命が危うかった。
にも関わらず、本部から射撃許可が降りない上に
武装犯に説得を試みると言う。

その本部の危機感の無い対応が元々、それほど
気が長い方ではない彼女を苛立たせていた。

「撃たないでくださいよ？隊長」

「分かってらあ」

スコープを覗きながら、彼女はそう返事を返す。
結局その後も射撃許可は降りず、
本部による説得が続けられた。

それから約一時間が経った。
時間が経つにつれて、武装犯達の顔から余裕が消え
焦りが浮かんでくる。
説得にも耳を貸さなくなり、人質に暴力を振るうようになる。
そして

「あの野郎……撃ちやがった!!」

時雨の顔が怒りに染まる。
遂に武装犯の一人が近くに座っていた警備員を
撃ってしまった。

幸い、急所は外れていて命に別状はないが、
このままでは人質の命は無いだろう。

「射撃許可はまだ出ないのか!!」

「駄目です、特殊銃隊は待機せよの一点張りのままです!!」

「この状況でまだ説得するってのか？何処まで危機感がねえんだよ、本部は!!」

おい、指揮を取ってるのは誰だ!!」

「太宰警部です」

「太宰いいい!!？あんのエロオヤジが!!」

時雨と機動隊を指揮している太宰長久警部は旧知の仲だった。最も友人と呼べるような穏やかな関係などではないのだが。

機動隊に配属されてから直ぐに太宰からセクハラされ、それに激怒した時雨が太宰を三ヶ月間入院する

ほどの大怪我を負わせていた。

その後、太宰の傷は完治するも、当然自分を病院送りにした時雨にいい印象があるわけがなく、事あるごとに時雨に無理難題を押し付けていた。

何時まで経っても射撃許可を降りないのは、時雨に手柄を取られるのが

気に入らない太宰の嫌がらせだろう。

それが分かっている時雨はさらに苛立ちは募っていき

「……もついい」

怒りは頂点に達した。

「は？」

「撃つ」

時雨は躊躇うことなく引き金を引いた

TIPS 報告書（前書き）

TIPS書いてみた。

次から興宮へ行きます。

TIPS 報告書

丸木銀行立て籠り事件の報告書

概要

昭和53年 3月24日 午後4時26分

丸木銀行にて立て籠り事件が発生、太宰警部の指揮の元
機動隊による包囲、説得が行われた。

だが、犯人は説得に応じず、人質の一人を銃撃し負傷させる。
その直後、特殊銃隊の小隊長である坂戸宮時雨警部補が
独断で発砲、武装犯二名を射殺した。

その後、機動隊の突入により、残りの武装犯も全員逮捕される。

被害

機動隊 特に無し。

人質 警備員一人が銃撃により負傷、命に別状なし

武装犯 二名射殺、残りは全員逮捕。

坂戸宮警部補の処遇

事件解決後、坂戸宮警部補の身柄を確保、
事情聴取を行う。

坂戸宮警部補は事情聴取で「あのままでは人質の命が危うかったため、発砲した」と語っているが、太宰警部は他に何か意図があったと見ており、更に追求する予定。

以上で報告を終わらせてもらいます。

3月25日 伊崎正人巡查部長

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9524z/>

ひぐらしのなく頃に 異端の刑事

2011年12月29日20時53分発行